

【必修領域】平成30年度福島大学教員免許状更新講習講習一覧

平成30年4月9日現在

講習番号	講習の名称	講習の概要	担当講師	講習会場	実施教室	時間数	講習の期間	受講料	受講人数	当日の持ち物 (事前購入テキスト)	講習の開講形態	試験の方法	試験時の持込	その他 (事前に知っておいてほしい事項、参考テキスト等)
1 - A	[必修]教育・子どもを巡る変化と省察	教員としての基礎的な知見として、国の教育政策や世界の教育の動向、子どもの発達に関する脳科学、心理学等の観点からの知識(心のバリアフリー等について)、などに触れるとともに、教育的愛情、倫理観、順法精神など教員として必須の事項を再確認し、子ども観、教育観等についての省察を行うことの重要性について考える。また、子どもの生活の変化をふまえた教育上の課題について考察を行う。	宗形 潤子(総合教育研究センター准教授) 渡辺 隆(人間発達文化学類教授)	福島大学(福島市)	L講義棟 L2・L3教室	6時間	平成30年6月9日(土)	6,000円	300人	筆記用具	講義 ペアでの討議	筆記試験	可	特になし
1 - B	[必修]教育・子どもを巡る変化と省察	教員としての基礎的な知見として、国の教育政策や世界の教育の動向、子どもの発達に関する脳科学、心理学等の観点からの知識(心のバリアフリー等について)、などに触れるとともに、教育的愛情、倫理観、順法精神など教員として必須の事項を再確認し、子ども観、教育観等についての省察を行うことの重要性について考える。また、子どもの生活の変化をふまえた教育上の課題について考察を行う。	谷 雅泰(人間発達文化学類教授) 住吉 チカ(人間発達文化学類教授)	福島大学(福島市)	L講義棟 L2・L3教室	6時間	平成30年8月17日(金)	6,000円	300人	筆記用具	講義	筆記試験	可	特になし
1 - C	[必修]教育・子どもを巡る変化と省察	教員としての基礎的な知見として、国の教育政策や世界の教育の動向、子どもの発達に関する脳科学、心理学等の観点からの知識(心のバリアフリー等について)、などに触れるとともに、教育的愛情、倫理観、順法精神など教員として必須の事項を再確認し、子ども観、教育観等についての省察を行うことの重要性について考える。また、子どもの生活の変化をふまえた教育上の課題について考察を行う。	谷 雅泰(人間発達文化学類教授) 木暮 照正(地域創造支援センター教授)	いわき明星大学(いわき市)	3号館 3-101 3-102 講義室	6時間	平成30年6月30日(土)	6,000円	300人	筆記用具	講義	筆記試験	可	特になし
1 - D	[必修]教育・子どもを巡る変化と省察	教員としての基礎的な知見として、国の教育政策や世界の教育の動向、子どもの発達に関する脳科学、心理学等の観点からの知識(心のバリアフリー等について)、などに触れるとともに、教育的愛情、倫理観、順法精神など教員として必須の事項を再確認し、子ども観、教育観等についての省察を行うことの重要性について考える。また、子どもの生活の変化をふまえた教育上の課題について考察を行う。	宗形 潤子(総合教育研究センター准教授) 高谷 理恵子(人間発達文化学類教授)	日本大学工学部(郡山市)	54号館 5411・5412教室	6時間	平成30年8月10日(金)	6,000円	300人	筆記用具	講義 ペアでの討議	筆記試験	可	特になし
1 - E	[必修]教育・子どもを巡る変化と省察	教員としての基礎的な知見として、国の教育政策や世界の教育の動向、子どもの発達に関する脳科学、心理学等の観点からの知識(心のバリアフリー等について)、などに触れるとともに、教育的愛情、倫理観、順法精神など教員として必須の事項を再確認し、子ども観、教育観等についての省察を行うことの重要性について考える。また、子どもの生活の変化をふまえた教育上の課題について考察を行う。	宗形 潤子(総合教育研究センター准教授) 富永 美佐子(人間発達文化学類准教授)	会津大学(会津若松市)	中講義室 M9・M10教室	6時間	平成30年7月21日(土)	6,000円	160人	筆記用具	講義 ペアでの討議 グループ討論	筆記試験	可	特になし
1 - F	[必修]教育・子どもを巡る変化と省察	教員としての基礎的な知見として、国の教育政策や世界の教育の動向、子どもの発達に関する脳科学、心理学等の観点からの知識(心のバリアフリー等について)、などに触れるとともに、教育的愛情、倫理観、順法精神など教員として必須の事項を再確認し、子ども観、教育観等についての省察を行うことの重要性について考える。また、子どもの生活の変化をふまえた教育上の課題について考察を行う。	坂本 篤史(人間発達文化学類准教授) 飛田 操(人間発達文化学類教授)	福島大学(福島市)	L講義棟 L2・L3教室	6時間	平成30年9月9日(日)	6,000円	300人	筆記用具	講義	筆記試験	可	特になし

【選択必修領域】平成30年度福島大学教員免許状更新講習一覽

講習番号	講習の名称	講習の概要	担当講師	講習会場	実施教室	時間数	講習の期間	主な受講対象者			受講料	受講人数	当日の持ち物 (事前購入テキスト)	講習の開講形態	試験の方法	試験時の持込	その他 (事前知っておいてほしい事項、参考テキスト等)
								学校種	免許職種、教科等	職務経験等							
2-A	【選択必修】学習指導要領・教育政策	学習指導要領の改訂の動向に関し、歴史的な経緯を振り返りながら解説する。そして、最近のカリキュラム改革やその周辺をめぐる議論について理解を深める。また、学校教育関連法令の改正動向や審議会の経過、子どもの貧困などの教育をめぐる社会問題について解説・検討する。その上で、現職教員としての教育政策への対応について考えていく。	坂本 篤史(人間発達文化学類准教授) 阿内 春生(人間発達文化学類准教授)	福島大学 (福島市)	L講義棟 L4教室	6時間	平成30年8月18日(土)	小学校 中学校 高等学校 特別支援学校	特定しない	特定しない	6,000円	200人	筆記用具	講義	筆記試験	可	特になし
2-B	【選択必修】教育政策・危機管理	学校教育関連法令の改正動向や審議会の経過、子どもの貧困などの教育をめぐる社会問題について解説・検討する。その上で、現職教員としての教育政策への対応について考えていく。また、学校の教育活動全般における危機管理上の課題を捉え、安全確保にかかわる今日的状況と危機管理の在り方について、自己の学校の実態を基に省察し、新たな視点を学ぶ。	阿内 春生(人間発達文化学類准教授) 丹野 学(総合教育研究センター特任教授) 講師が変更になりました。 佐藤 和彦(総合教育研究センター特任教授)	日本大学 工学部 (郡山市)	54号館 5411教室	6時間	平成30年8月9日(木)	幼稚園 小学校 中学校 高等学校 特別支援学校	特定しない	特定しない	6,000円	150人	筆記用具	講義・グループ討議	筆記試験	可	特になし
2-C	【選択必修】教育政策・組織的対応	学校教育関連法令の改正動向や審議会の経過、子どもの貧困などの教育をめぐる社会問題について解説・検討する。その上で、現職教員として、学校組織の一員として、学校内での協力に加えて、保護者や地域社会など学校外と連携協力した学校の各種課題に対する組織的対応について、自己の経験を省察し、その在り方を学ぶ。	阿内 春生(人間発達文化学類准教授) 丹野 学(総合教育研究センター特任教授) 講師が変更になりました。 佐藤 和彦(総合教育研究センター特任教授)	いわき明星大学 (いわき市)	3号館 3-101 3-102 講義室	6時間	平成30年7月1日(日)	幼稚園 小学校 中学校 高等学校 特別支援学校	特定しない	特定しない	6,000円	300人	筆記用具	講義・グループ討議	筆記試験	可	特になし
2-D	【選択必修】学校を巡る変化・組織的対応	学校を巡る近年の状況の変化について考察を行う。PISAなど学力の国際比較に見られる傾向を糸口に、児童・生徒の学習意欲の問題、保護者の意識の変化、社会の学校観などを扱う。子どもの貧困の問題についても扱う。また、学校組織の一員として、学校内での協力に加えて、保護者や地域社会など学校外と連携協力した学校の各種課題に対する組織的対応について、自己の経験を省察し、その在り方を学ぶ。	谷 雅泰(人間発達文化学類教授) 丹野 学(総合教育研究センター特任教授) 講師が変更になりました。 佐藤 和彦(総合教育研究センター特任教授)	会津大学 (会津若松市)	中講義室 M9・M10 教室	6時間	平成30年7月22日(日)	幼稚園 小学校 中学校 高等学校 特別支援学校	特定しない	特定しない	6,000円	160人	筆記用具	講義	筆記試験	可	特になし
2-E	【選択必修】カリキュラムマネジメント	学校・地域の特徴や教科横断的な視点などから教育活動の改善を支える教育課程の編成、実施、評価及び改善の一連の取組について、その目的や先進的な取り組みを基に理解を深める。さらに自己の課題意識から参加者同士議論を深め、自己実践、学校における具体的な取り組みに生かすことを目指す。	宗形 潤子(総合教育研究センター准教授)	福島大学 (福島市)	総合教育研究センター 棟2階 特別教室	6時間	平成30年7月30日(月)	小学校 中学校	特定しない	特定しない	6,000円	60人	筆記用具 ・所属学校の教育過程	講義 グループワーク	筆記試験	可	特になし
2-F	【選択必修】アクティブ・ラーニング	アクティブラーニングは、日本の小学校や中学校等で意欲的に取り組まれてきた授業実践の延長上にあります。アクティブラーニングに関する最近の議論を紹介しつつ、今までの授業研究による知見を踏まえ、「主体的、対話的、深い学び」を実現するためには何が求められるのかについて考えを深めていきます。	坂本 篤史(人間発達文化学類准教授)	福島大学 (福島市)	総合教育研究センター 棟2階 特別教室	6時間	平成30年6月10日(日)	小学校 中学校	特定しない	特定しない	6,000円	80人	筆記用具	講義・グループ討議	筆記試験	可	特になし

講習番号	講習の名称	講習の概要	担当講師	講習会場	実施教室	時間数	講習の期間	主な受講対象者			受講料	受講人数	当日の持ち物 (事前購入テキスト)	講習の開講形態	試験の方法	試験時の持込	その他 (事前においてほしい事項、参考テキスト等)
								学校種	免許職種、 教科等	職務経験等							
2 - G	〔選択必修〕教育相談(いじめ及び不登校への対応を含む。)	学校現場の教育相談のありかたについて論じる。前半は、相談面接の基礎、SC活用を含めたチーム支援、いじめ・不登校への対応、効果的な別室登校支援等について検討する(青木)。後半は、不登校はもとより、発達障害、非行、いじめなど事例を通して相談の理論と実際、留意点を詳述する。特に、非行問題との関連を中心に、保護者への対応について事例に基づいて実践手法を学ぶ(生島)。	青木 真理(総合教育研究センター教授) 生島 浩(人間発達文化学類教授)	福島大学 (福島市)	L講義棟 L1教室	6時間	平成30年7月28日(土)	幼稚園 小学校 中学校 高等学校 特別支援学校	特定しない	特定しない	6,000円	200人	筆記用具	講義	筆記試験	可(資料等)	参考書:生島浩「非行臨床における家族支援」遠見書房、2016年
2 - H	〔選択必修〕進路指導及びキャリア教育	学校教育における進路指導を核としたキャリア教育の意義とその役割について、職業発達心理学の視点から検討する。進路選択・キャリア発達の理論・キャリア教育に関する研究動向、今日のキャリア教育の動向などを取り上げる。学校教育におけるキャリア教育の具体的な展開については、出席者との情報交換などを踏まえながらその在り方を考えてみたい。	五十嵐 敦(総合教育研究センター教授)	日本大学 工学部 (郡山市)	54号館 5412教室	6時間	平成30年8月9日(木)	幼稚園 小学校 中学校 高等学校 特別支援学校	特定しない	特定しない	6,000円	150人	筆記用具	講義	筆記試験	可	特になし
2 - I	〔選択必修〕学び合う道徳授業の探究	1.「考え、議論する」道徳科への転換の趣旨を解説する。2.インテグレイティブ・シンキングによる道徳授業のあり方について解説する。3.西川純氏が提唱する「学び合い」の基本的な考え方について講義し、小学校及び中学校の道徳授業の事例を参照して、教師の語りと課題設定、教師の立ち振る舞い、評価等について講義するとともに、受講者同士で議論する。	松下 行則(人間発達文化学類教授)	福島大学 (福島市)	M講義棟 M3教室	6時間	平成30年6月16日(土)	小学校 中学校	特定しない	特定しない	6,000円	100人	筆記用具	講義、グループ討議	筆記試験	可	西川純氏提唱の「学び合い」に関する書籍を読んで頂くこと 注:7/7開講の「〔選択〕学び合う道徳授業の探究」と同一内容になります
2 - J	〔選択必修〕小学校英語セミナー	小学校外国語活動の実施にあたり、必要とされる英語教育の理論的知識を理解し、実践(授業のデザイン、実施、反省の三位一体)していただける素地を養う。特に心理言語学的視点から第二言語習得の特徴を探るとともに、外国語活動の指導上の創意工夫として「Hi, friends!」を中心に講義していく。小中連携の観点から中学校英語教諭も対象とする。	佐久間 康之(人間発達文化学類教授)	福島大学 (福島市)	M講義棟 M1教室	6時間	平成30年6月16日(土)	小学校 中学校	小学校教諭、中学校英語教諭	特定しない	6,000円	100人	筆記用具	講義	筆記試験	配布資料のみ可	英和辞典(紙もしくは電子辞書)がある方は、お持ちください
2 - K	〔選択必修〕国際理解と異文化理解教育	本セミナーでは「異文化理解の基礎と異文化体験のアクティビティ」と「異文化交流と文学・芸術」を扱う。「異文化理解の基礎と異文化体験のアクティビティ」では、異文化理解に関わる基本的な概念について講義を行い、その上で異文化理解教育に活用できるような異文化体験アクティビティの実践を行う。「異文化交流と文学・芸術」では、文学・映像作品を通して、異なる国家ならびに社会・文化が如何に対立と協力を繰り返してきたのかを確認すると同時に、その意義を考察する。	高木 修一(人間発達文化学類准教授) 高田 英和(人間発達文化学類准教授)	福島大学 (福島市)	M講義棟 M3教室	6時間	平成30年7月8日(日)	幼稚園 小学校 中学校 高等学校 特別支援学校	特定しない	特定しない	6,000円	100人	筆記用具	講義	筆記試験	可	特になし

講習 番号	講習の名称	講習の概要	担当講師	講習会場	実施教室	時間数	講習の期間	主な受講対象者			受講料	受講 人数	当日の 持ち物 (事前購入 テキスト)	講習の 開講形態	試験の方法	試験時の 持込	その他 (事前に知っておいて ほしい事項、参考テ キスト等)
								学校種	免許職種、 教科等	職務経験等							
2 - L	【選択必修】情報科学ア ップデート	情報科学・工学の分野で、比較的变化が早く、かつ中学校・高等学校における教育内容に関連した領域の知識をアップデートできる内容の講義をおこなう。テーマは、著作権など知的所有権の知識および個人情報やプライバシー問題の整理、情報メディア利用のあり方と社会生活の中での位置づけについて講義する。また情報ネットワークの基礎および最新の情報セキュリティの状況及び認証技術の基礎と応用について講義する。小中連携の観点から小学校教諭も対象とする。	神長 裕明(共生システム理工学類教授) 篠田 伸夫(共生システム理工学類教授) 中村 勝一(共生システム理工学類准教授)	福島大学 (福島市)	共生システム理工学類 後援募金記念棟 会議室	6時間	平成30年6月23日(土)	小学校 中学校 高等学校	情報・技術・ 工業・数学・ 理科	特定しない	6,000円	50人	筆記用具	講義	筆記試験	不可	特になし
2 - M	【選択必修】幼稚園教育要 領改訂の動向等	子どもたちが家庭よりも園で過ごす時間が長くなり、家庭での教育力の重要性が叫ばれつつも、保育の果たす役割がこれまで以上に大きくなってきている。このような中で幼稚園教育要領は改訂されたが、何がかわったのか、あるいは何を变えずにこれまでと同じように大事にしていけばよいのかを、本講義の中では考えていきたい。	大宮 勇雄(元福島大学人間発達文化学類教授) 原野 明子(人間発達文化学類准教授)	福島大学 (福島市)	総合教育研 究センター 棟2階 特別教室	6時間	平成30年8月24日(金)	幼稚園	幼稚園教諭	特定しない	6,000円	100人	筆記用具	講義	筆記試験	可	幼稚園教育要領を事前にこー読ください

【選択領域】平成30年度福島大学教員免許状更新講習一覧

講習番号	講習の名称	講習の概要	担当講師	講習会場	実施教室	時間数	講習の期間	対象職種	主な受講対象者	受講料	受講人数	当日の持ち物 (事前購入テキスト)	講習の開講形態	試験の方法	試験時の持込	その他 (事前に知っておいてほしい事項、参考テキスト等)
3	【選択】幼児の表現を支える教材の考え方	現代の社会環境の変化により、乳幼児の心身の発達は危機にさらされている。そこで、その実態を踏まえつつ、さまざまな音楽教材や遊びを紹介しながら、教材研究の方法や、幼児の発達にふさわしい教材の展開などを考える。	白石 昌子(人間発達文化学類教授)	福島大学(福島市)	総合教育研究センター棟4階音楽リズム実習室	6時間	平成30年8月6日(月)	教諭	幼稚園教諭	6,000円	30人	・筆記用具	講義と実技	筆記試験	不可	動きやすい服装で参加して下さい。
4	【選択】幼児の発達を通して保育を考える	保育者が保育において「気になる子ども」とはどのような子どもなのかを考え、保育者の子どもの見方や働きかけ方について検討する。このことを通して、保育における活動の意味を再検討し、幼児期の子どもにとっての園生活の意味について考える。	原野 明子(人間発達文化学類准教授)	福島大学(福島市)	未定	6時間	平成30年8月2日(木)	教諭	幼稚園教諭	6,000円	50人	・筆記用具	講義(グループ討議も含む)	筆記試験	不可	特になし
5	【選択】主体的に学ぶ子どもを育む保育とは	今年度から実施される新幼稚園教育要領・保育所保育指針等の内容を深く読み込みながら、主体的に学ぶ幼児の姿はどのようなものを中心に検討し、そうした姿を育む保育のあり方について学び合う。	大宮 勇雄(元福島大学人間発達文化学類教授)	福島大学(福島市)	総合教育研究センター棟4階音楽リズム実習室	6時間	平成30年9月29日(土)	教諭	幼稚園教諭	6,000円	40人	・筆記用具	講義とワークショップ	筆記試験	可	参考テキスト:大宮『学びの物語の保育実践』(ひとなる書房 2010)、福島大学附属幼稚園ほか『子どもの心が見えてきた』(ひとなる書房 2011)(あくまで参考図書です)
6	【選択】特別支援教育の推進と充実をめざしてA	本講義では、学校や社会における障害受容および障害理解について学ぶことを目的とする。具体的には、知的障害や発達障害に関する特性(特に、感覚・知覚・認知)の理解、障害の定義、社会における障害観の形成と変容(偏見・差別の解消)、インクルーシブ教育の現状と課題について理解を深める。	高橋 純一(人間発達文化学類准教授)	福島大学(福島市)	L講義棟L4教室	6時間	平成30年7月22日(日)	教諭 養護教諭	小学校教諭・中学校教諭・高等学校教諭・特別支援学校教諭・養護教諭	6,000円	150人	・筆記用具	講義	筆記試験	可	特になし
7	【選択】特別支援教育の推進と充実をめざしてB	自閉症スペクトラム障害(ASD)、注意欠如多動性障害(ADHD)の症状、診断、治療、合併症、指導の留意点について、医師の立場から解説する。解説は、基礎的な内容が中心となる予定である。薬物療法については詳しく説明する予定である。	内田 千代子(人間発達文化学類教授)	福島大学(福島市)	L講義棟L1教室	6時間	開講日が変更になりました 平成30年10月20日(土) 平成30年10月13日(主)	教諭 養護教諭	小・中・高等学校、養護教諭、(特別支援学校教諭)	6,000円	100人	・筆記用具	講義	筆記試験	可	特になし

講習番号	講習の名称	講習の概要	担当講師	講習会場	実施教室	時間数	講習の期間	対象職種	主な受講対象者	受講料	受講人数	当日の持ち物 (事前購入テキスト)	講習の開講形態	試験の方法	試験時の持込	その他 (事前に知っておいてほしい事項、参考テキスト等)
8	【選択】特別支援教育の推進と充実をめざしてC	発達障害や知的障害のある子ども達に対する支援を行っていくのに活用が期待されている応用行動分析の入門となる事項を学ぶ。また、発達障害や知的障害のある子ども達が示す「気になる行動」とその対応法について、応用行動分析の観点から演習形式で考えていく。	鶴巻 正子(人間発達文化学類教授)	福島大学(福島市)	総合教育研究センター棟 2階 特別教室	6時間	平成30年8月9日(木)	教諭 養護教諭	幼稚園教諭、小学校教諭、特別支援学校教諭、養護教諭	6,000円	50人	・筆記用具	講義・演習	筆記試験	可	特になし
9	【選択】国語教育セミナー(小・中学校教員向け)	国語科における「主体的」「対話的」、かつ「深い学び」とする授業の在り方を具体的な教材に基づく演習形式で考えます(演習形式が苦手な方は予め受講をご遠慮ください)。「楽しい授業」「国語の力をつける授業」とはどうあるべきか、明日の授業に活きる理論と実践を確認していきます。	佐藤 佐敏(人間発達文化学類教授)	ビッグパレットふくしま(郡山市)	プレゼンテーションルーム	6時間	開講日が変更になりました 平成30年8月6日(月) 平成30年8月7日(火)	教諭	小学校教諭、または中学校国語教諭	6,000円	70人	・筆記用具	演習	筆記試験	可	【参考テキスト】: 『国語科授業を変えるアクティブ・リーディング』(明治図書) ※注:8/21福島市開催の「【選択】国語教育セミナー(小・中学校教員向け)」と同一内容になります。
10	【選択】国語教育セミナー(小・中学校教員向け)	国語科における「主体的」「対話的」、かつ「深い学び」とする授業の在り方を具体的な教材に基づく演習形式で考えます(演習形式が苦手な方は予め受講をご遠慮ください)。「楽しい授業」「国語の力をつける授業」とはどうあるべきか、明日の授業に活きる理論と実践を確認していきます。	佐藤 佐敏(人間発達文化学類教授)	福島大学(福島市)	M講義棟 1階 M1教室	6時間	平成30年8月21日(火)	教諭	小学校教諭、または中学校国語教諭	6,000円	50人	・筆記用具	演習	筆記試験	可	【参考テキスト】: 『国語科授業を変えるアクティブ・リーディング』(明治図書) ※注:8/6郡山市開催の「【選択】国語教育セミナー(小・中学校教員向け)」と同一内容になります。
11	【選択】国語セミナー 日本語学	言語学の一分野としての日本語学(国語学)に関する講義を行う。具体的には、国語教育で扱われている国文法と、日本語学・日本語教育で扱われる日本語文法との共通点、相違点について概観し、ことばの教育のあり方について考える。	中川 祐治(人間発達文化学類准教授)	福島大学(福島市)	未定	6時間	平成30年8月1日(水)	教諭	中学校・高等学校国語科教諭	6,000円	100人	・筆記用具	講義	筆記試験	可	特になし
12	【選択】国語セミナー 日本文学(古典)	日本古典文学(古文)教材を取り上げ、対話的で深い学びを実現するための教材のあり方や発問の仕方などについて考察する(授業方法については扱わない)。対象とする教材は歌物語と和歌。歌物語については、高校国語教科書に掲載されている教材を取り上げる。和歌については、教科書に掲載されていない新たな教材を提案する。	井実 充史(人間発達文化学類教授)	福島大学(福島市)	M講義棟 1階 M3教室	6時間	平成30年8月7日(火)	教諭	中学校または高校国語科教員	6,000円	100人	・筆記用具	講義及びグループ討議	筆記試験	可	特になし
13	【選択】国語セミナー 漢文学	漢文学の基礎となる古代(主に殷・周・秦・漢代)の諸文化について、「漢字文化」の観点から踏まえ、原文資料を読解しつつ講述する。具体的には、①漢文学の文字学的原義、②漢字の成立とその背景、③古代の寓話・寓言、④古代の歌謡といった内容を中心に考察をおこなってゆく。	澁澤 尚(人間発達文化学類教授)	福島大学(福島市)	M講義棟 1階 M1教室	6時間	平成30年7月8日(日)	教諭	小学校教諭、中学校・高等学校国語科教諭	6,000円	100人	・筆記用具	講義	筆記試験	可	基礎的な漢文訓読法について復習しておいてください。

講習番号	講習の名称	講習の概要	担当講師	講習会場	実施教室	時間数	講習の期間	対象職種	主な受講対象者	受講料	受講人数	当日の持ち物 (事前購入テキスト)	講習の開講形態	試験の方法	試験時の持込	その他 (事前に知っておいてほしい事項、参考テキスト等)
14	【選択】英語研究セミナーA	本セミナーでは「英語理解における記憶の役割と評価」、「英語教育におけるテストの意義とその方法」について講義を行う。「英語理解における記憶の役割と評価」では、言語を理解する際にかかわる記憶の種類とその重要性及びテストにおける評価のあり方について理解を深めることを目指す。「英語教育におけるテストの意義とその方法」では、さまざまなテストの役割とテスト作成から実施後の処理について理解を深めることを目指す。	佐久間 康之(人間発達文化学類教授) 高木 修一(人間発達文化学類准教授)	福島大学 (福島市)	未定	6時間	平成30年8月3日(金)	教諭	中学校・高等学校英語科教諭	6,000円	100人	・筆記用具	講義	筆記試験	可	特になし
15	【選択】英語研究セミナーB	英語を中心とした言語研究の成果に基づいて、英語の語彙、意味、構造などに関する事項を取り上げる。言語に対する理解を深めること、コミュニケーション能力を向上させることという英語教育・外国語教育の視点をふまえながら、それぞれの事項に関する知識の習得を目的とする。	朝賀 俊彦(人間発達文化学類教授) 佐藤 元樹(人間発達文化学類准教授)	福島大学 (福島市)	未定	6時間	平成30年8月2日(木)	教諭	中学校・高等学校英語科教諭	6,000円	50人	・筆記用具 ・英和辞書(電子辞書でも可)	講義	筆記試験	可	特になし
16	【選択】英語研究セミナーC	近代から現代の英米文学および関連する研究について講述し、教師の専門的力量や教授能力の向上に資することを目標とします。英語研究セミナーA・Bと併せて受講することにより、三分野に関する専門的な知見が得られるだけでなく、授業実践についても有益な情報が得られることになります。	飯嶋 良太(人間発達文化学類准教授) 川田 潤(人間発達文化学類教授)	福島大学 (福島市)	未定	6時間	平成30年8月1日(水)	教諭	中学校・高等学校英語科教諭	6,000円	50人	・筆記用具	講義＋ワークショップ	筆記試験	可	特になし
17	【選択】小学校社会科セミナー	小学校社会科の教科特性と社会科の歴史を概観した上で、現行並びに新学習指導要領に関する解説を加え、学習内容に関する最新の研究成果や実践について紹介する。合わせて、社会科において実践できる防災教育に関しても解説を加える。	初澤 敏生(人間発達文化学類教授) 鶴沼 秀雅(人間発達文化学類特任教授)	福島大学 (福島市)	M講義棟 1階 M1教室	6時間	平成30年7月28日(土)	教諭	小学校教諭	6,000円	100人	・筆記用具	講義を中心とするが、一部グループ討議等を行う	筆記試験	当日配布した資料類の持ち込みを可とする。	※注：8/3郡山市開講の【選択】小学校社会科セミナー」と同一内容になります。
18	【選択】小学校社会科セミナー	小学校社会科の教科特性と社会科の歴史を概観した上で、現行並びに新学習指導要領に関する解説を加え、学習内容に関する最新の研究成果や実践について紹介する。合わせて、社会科において実践できる防災教育に関しても解説を加える。	初澤 敏生(人間発達文化学類教授) 鶴沼 秀雅(人間発達文化学類特任教授)	ビッグバレットふくしま (郡山市)	プレゼンテーションルーム	6時間	平成30年8月3日(金)	教諭	小学校教諭	6,000円	100人	・筆記用具	講義を中心とするが、一部グループ討議等を行う	筆記試験	当日配布した資料類の持ち込みを可とする。	※注：7/28福島市開講の【選択】小学校社会科セミナー」と同一内容になります。
19	【選択】中学校社会科(公民的分野)・高校公民科教材開発	この講座では、中学校社会科公民分野ならびに高等学校公民科の「現代社会」「倫理」について、それぞれの専門分野における研究を踏まえながら、それらを現場の授業においてどのように教材化していったらよいかを検討していきます。今年度は社会学、倫理学の研究者が教科専門の立場から講義を行い、それらの知見をどう実践に結びつけていったらいいのか考えてもらいます。	小野原 雅夫(人間発達文化学類教授) 牧田 実(人間発達文化学類教授)	福島大学 (福島市)	M講義棟 1階 M1教室	6時間	平成30年7月14日(土)	教諭	中学校社会科・高校公民科教諭	6,000円	50人	・筆記用具	講義とワークショップ	筆記試験	不可	特になし

講習番号	講習の名称	講習の概要	担当講師	講習会場	実施教室	時間数	講習の期間	対象職種	主な受講対象者	受講料	受講人数	当日の持ち物 (事前購入テキスト)	講習の開講形態	試験の方法	試験時の持込	その他 (事前知っておいてほしい事項、参考テキスト等)
20	【選択】中学校社会科(地理的分野)・高校地歴科地理教材開発	中学校社会科並びに高等学校地理歴史科の教科特性と教科の歴史を概観した上で、特に地理的分野に焦点を当てて、現行並びに新学習指導要領に関する解説を加える。これに合わせて、学習内容に関する最新の研究成果や実践についてもいくつか紹介する	初澤 敏生(人間発達文化学類教授) 中村 洋介(人間発達文化学類准教授)	福島大学 (福島市)	M講義棟 1階 M1教室	6時間	平成30年7月15日(日)	教諭	中学校社会科・高校地歴科教諭	6,000円	100人	・筆記用具	講義を中心とする	筆記試験	当日配布した資料類の持ち込みを可とする。	特になし
21	【選択】中学校社会科(歴史的分野)・高校地歴科日本史・世界史教材開発	中学校社会科歴史的分野および高等学校地歴科歴史的分野(日本史・世界史)について、近年の歴史学研究成果をもとにした新たな知見を紹介することを通じて、それらを授業においてどのように活用していけば良いのか、教材づくりの視点と方法についても考えていく。	小松 賢司(人間発達文化学類准教授) 鍵和田 賢(人間発達文化学類准教授)	福島大学 (福島市)	M講義棟 1階 M1教室	6時間	平成30年7月16日(月)	教諭	中学校社会科教諭・高校地歴科教諭(高校公民科教諭を含む)	6,000円	50人	・筆記用具	講義	筆記試験	可	特になし
22	【選択】算数教育もう一步先へ	今日、日々の算数の授業において、数学的活動の改善と充実を図り、子どもたちにおける数学的に考える資質・能力をより一層育むことが期待されている。数学的活動の改善と充実に向けて、子ども観、授業観、算数観を新たに振り返り、今後の教材研究や授業づくりの方向性について考える。小学校教諭はじめ、小中高連携の観点から中学校・高校数学科教諭も対象とする。	森本 明(人間発達文化学類教授) 大橋淳子(会津若松市立一箕小学校校長) 牧之段拓(つくば市立春日学園義務教育学校教諭)	福島大学 (福島市)	L講義棟 L4教室	6時間	平成30年8月7日(火)	教諭	小学校教諭および中高数学科教諭	6,000円	150人	・筆記用具	講義と演習	筆記試験	可	特になし
23	【選択】思考力をはぐくむ算数・数学の授業づくり	全国学力・学習状況調査を生かした算数・数学の授業づくりが求められている。特に、活用日問題を中心にして算数・数学の授業づくりの方向性について考える。小中学校の内容・活動を中心に、講座を構成、展開する。	森本 明(人間発達文化学類教授) 大橋 淳子(会津若松市立一箕小学校校長) 中嶋 由佳(日上市立教育委員会教育研究所 指導主事) 菅 達徳(明治大学付属中野中・高等学校教諭)	福島大学 (福島市)	L講義棟 L1教室	6時間	平成30年11月24日(土)	教諭	小学校教諭および中高数学科教諭	6,000円	150人	・筆記用具	講義と演習	筆記試験	可	特になし
24	【選択】有理数と無理数	有理数と無理数について講義を行い、数に関する理解を深めることを目標とする。歴史的な事実を踏まえつつ、無理数の判定法、近似の理論、計算アルゴリズムについて紹介する。	相原 義弘(人間発達文化学類教授)	福島大学 (福島市)	S講義棟 2階 S21教室	6時間	平成30年6月16日(土)	教諭	中学校・高等学校 数学科教諭	6,000円	30人	・筆記用具	講義と演習	筆記試験	不可	特になし
25	【選択】現代数学の手法	幾何学および解析学のテーマを通し、現代数学のアイデアや手法に触れる。幾何学については身の周りの様々な図形を取り上げ、それらに潜む数学的性質について紹介する。また、いくつかの実験を通して新しい幾何学「トポロジー」の考え方に触れる。解析学については身近にある確率論の話題を紹介する。更には、現代確率論を構築する上で大きな役割を果たす測度論・ルベーグ積分の考え方に触れる。	中田 文憲(人間発達文化学類准教授) 和田 正樹(人間発達文化学類准教授)	福島大学 (福島市)	S講義棟 3階 S31教室	6時間	平成30年8月8日(水)	教諭	中学校・高等学校数学科教諭	6,000円	25人	・筆記用具	講義	筆記試験	可	特になし

講習番号	講習の名称	講習の概要	担当講師	講習会場	実施教室	時間数	講習の期間	対象職種	主な受講対象者	受講料	受講人数	当日の持ち物 (事前購入テキスト)	講習の開講形態	試験の方法	試験時の持込	その他 (事前に知っておいてほしい事項、参考テキスト等)
26	【選択】これからの数学の授業づくりについて考える	平成29年3月に新学習指導要領が告示され、数学的に考える資質・能力の育成を図る数学の授業づくりが求められている。特に、数学的に問題発見・解決する過程が重要であり、この過程を遂行する数学的活動の充実と改善について考える。	森本 明(人間発達文化学類教授) 大橋淳子(会津若松市立一貫小学校校長) 菅達徳(明治大学付属中野中・高等学校教諭) 泉一也(秋田市立御野場中学校教諭)	福島大学 (福島市)	L講義棟 L4教室	6時間	平成30年10月8日(月)	教諭	中高数学科教諭および算数科を研究教科としている小学校教諭	6,000円	150人	・筆記用具	講義と演習	筆記試験	可	特になし
27	【選択】小学校理科セミナー	平成32年度からスタートする新学習指導要領では「アクティブ・ラーニング」の視点から学習過程を質的に改善し、「主体的・対話的で深い学び」を実現することを求めています。本講習では、小学校理科における特徴的な見方・考え方に焦点を当て、「アクティブ・ラーニング」を実現するためのポイントを整理するとともに、必要となる教材・ICT活用の事例を検討する中で、教室で実現する方法を探っていきます。小中連携の観点から中学校理科教諭も対象とします。	平中宏典(人間発達文化学類准教授) 水澤玲子(人間発達文化学類准教授) 野崎修司(人間発達文化学類特任教授) 村上正義(人間発達文化学類特任教授)	福島大学 (福島市)	M講義棟 1階 M3教室	6時間	平成30年7月28日(土)	教諭	小学校教諭、中学校理科教諭	6,000円	72人	・筆記用具	講義・グループ協議	筆記試験	可	特になし
28	【選択】再生可能エネルギーをいかに伝えるか	東日本大震災以降、再生可能エネルギーに対する注目度が上がっている。再生可能エネルギー発電を中心に、発電原理・実施例・導入推進施策・自治体のビジョン・近未来の課題などを解説する。再生可能エネルギーは教科の枠を越えて総合的に捉えることが重要である。理科(エネルギーについて)や社会(地域の資源・新しい産業)など各教科で取り上げる場合や、環境学習や課外活動で取り上げる場合などで、参考にしていただきたい。	佐藤 理夫(共生システム理工学類教授)	福島大学 (福島市)	総合教育研究センター棟 2階 特別教室	6時間	平成30年8月21日(火)	教諭	小学校・中学校・高等学校教員(科目問わず)	6,000円	90人	・筆記用具	講義・グループ討議	筆記試験	可	特になし
29	【選択】人理解のための脳科学	神経生理学、心理学などの側面から、人の“脳と心”の理解を目的として、 ・生物が視覚や聴覚などの感覚系によってどのように世界をとらえているか。それらの活動の基になる神経細胞のふるまいを中心に概説する。 ・子どもや青少年の睡眠の特徴、睡眠覚醒パターン、異常な睡眠、生活習慣の改善と学業成績や精神衛生の関連について概説する。理科教諭以外も歓迎。	小山 純正(共生システム理工学類教授) 高原 円(共生システム理工学類准教授)	福島大学 (福島市)	S講義棟 3階 S32教室	6時間	平成30年8月8日(水)	教諭 養護教諭 栄養教諭	全教員	6,000円	50人	・筆記用具	講義	筆記試験	可	特になし
30	【選択】インターネットを活用した教材作成 - 気象データを用いた気象教材の作成ワークショップ -	インターネット等で公開されている様々なデータを素材に、より効果的な教材を作成できることが期待できる。本講座では、teiten2000 プロジェクト等で公開されているデータを活用し、学習指導要領(理科)で述べられている気象観測の内容に即した教材作成を例に、ワークショップ形式で開講する。ワード、エクセル、パワーポイントの少なくともいずれか1つを用いて教材・教案を作成するので、日常的に使えることが望ましい。	篠田 伸夫(共生システム理工学類教授) 渡部 昌邦(南相馬市立立石中学校教諭) 渡邊 景子(東京女子体育大学講師)	福島大学 (福島市)	共生システム理工学類研究実験棟2階 コンピュータ実習室	6時間	平成30年8月17日(金)	教諭	小学校教諭・中学校高校理科教諭・中学校技術科教諭・高校情報科教諭	6,000円	40人	・筆記用具 ・作成した教材を持ち帰りたい方はUSBメモリをご用意ください。	ワークショップ	筆記試験及びワークショップ成果物	可	教材の作成や教案を作成しますので、作成したい教科(理科、技術科、情報科)の学習指導要領、教科書をお持ちください。

講習番号	講習の名称	講習の概要	担当講師	講習会場	実施教室	時間数	講習の期間	対象職種	主な受講対象者	受講料	受講人数	当日の持ち物 (事前購入テキスト)	講習の開講形態	試験の方法	試験時の持込	その他 (事前にかけておいてほしい事項、参考テキスト等)
31	【選択】小学校音楽教育の理論と実践	理論的には音楽科教育の歴史と思想・哲学、音楽科カリキュラム論、実践的にはボディ・パーカッションやサウンド・エデュケーション、即興等を扱い、また日本との比較対象として北欧の音楽教育やコミュニティ音楽療法を取り上げることで、今後の小学校音楽教育の在り方について総合的に考究する。	杉田 政夫(人間発達文化学類教授)	福島大学(福島市)	音楽棟音楽講義室	6時間	平成30年11月18日(日)	教諭	小学校教諭	6,000円	40人	・筆記用具	講義、実技	筆記試験	可	特になし
32	【選択】音楽科における器楽の理解と指導法「弦楽器の奏法と指導」	本講座においては、近年の多様化する教科指導内容や教員の専門的知識・技能習得への要請に対応し、器楽領域における理解と指導法の検討・講義・演習をおこなう。弦楽器を中心とした器楽の理解と指導法の検討。	金谷 昌治(人間発達文化学類教授)	福島大学(福島市)	音楽棟合奏室	6時間	平成30年11月23日(金)	教諭	中学校・高等学校音楽教諭	6,000円	20人	・筆記用具	講義及び実習	実技考査	可	特になし
33	【選択】中高音楽科における声楽の実践と指導法	主に声楽の技術面に関する講習を行う。中・高の教科書に記載されている日・伊・独の歌曲を教材として用い、歌唱の技術的面的の見直しと弾き語り、講習の主たる内容である。時間が許す限り、教科書掲載の声楽作品を、映像、音源を用いながら、鑑賞の方法論の手引きも行う。	今尾 滋(人間発達文化学類准教授)	福島大学(福島市)	音楽棟声楽室	6時間	平成30年7月7日(土)	教諭	中学校・高等学校音楽教諭	6,000円	20人	・筆記用具	実技レッスン	実技考査	可	課題は歌唱・伴奏・弾き歌いとし、5月末頃に別途発表する。基本的に弾き歌いは30年度の福島県教員採用試験の課題曲に準ずるものとする。
34	【選択】鍵盤楽器の演奏法および伴奏法	音楽科においては、近代までの西洋音楽のみならず、多様な音楽をその背景となる文化・歴史とのかかわりから理解することが求められている。本講習では、講義や鍵盤楽器の演奏を通して、西洋音楽(特に鍵盤楽器)における演奏法や解釈を深める。そして伴奏法等を考える。中学校・高等学校教科書で扱う合唱曲について、伴奏法を実践的に探究しますので、予め発表する課題曲の伴奏部分を準備したうえで参加してください。	中畑 淳(人間発達文化学類教授)	福島大学(福島市)	音楽棟合奏室	6時間	平成30年7月8日(日)	教諭	中学校・高等学校音楽科教諭	6,000円	30人	・筆記用具	講義と実技	実技考査	可(楽譜を使用します)	予め発表する課題曲について、準備をたうえで受講してください。課題曲については、5月末までに別途発表します。
35	【選択】小学校における造形教育の意義と実践の展開	学習指導要領(図画工作科)の内容を確認しながら、造形的な見方考え方を触発する材料との対話を通して表現の工夫が出来る題材づくり、授業づくりを検討していく。前半では小～高校までの学齢に対応し、集団制作にも発展し得るカラータイルの教材研究を通し、受講者の新たなデザイン性の習得を目指す。後半では小学校における彫刻的表現にかかわる内容を、学習指導要領を確認しつつ教材開発し、演習を織り交ぜながら理解をさらに深める。	片野 一(人間発達文化学類特任教授) 新井 浩(人間発達文化学類教授)	福島大学(福島市)	(午前)美術棟木材工芸実習室 (午後)M講義棟1階M3教室	6時間	平成30年7月7日(土)	教諭	小学校教諭	6,000円	50人	・筆記用具 ・エブロンや前掛け、ハンドタオル	実技及び講義	筆記試験及び実技成果物	テキスト・資料参照可	特になし
36	【選択】絵やデザイン(映像メディア含)などの平面表現についての指導と評価のあり方	今日の中学校・高等学校における美術教育の役割を理解し、「絵画」の授業づくりの実際を学ぶ。 主に「絵画(映像メディア表現を含む)」の表現・鑑賞における指導内容や教員の専門的知識の習熟を図る。	加藤 奈保子(人間発達文化学類准教授) 渡邊 晃一(人間発達文化学類教授)	福島大学(福島市)	総合教育研究センター棟2階特別教室	6時間	平成30年9月29日(土)	教諭	中学校・高等学校美術科教諭	6,000円	50人	・筆記用具	講義	筆記試験	可	参考テキスト:『絵画の教科書』日本教出版

講習番号	講習の名称	講習の概要	担当講師	講習会場	実施教室	時間数	講習の期間	対象職種	主な受講対象者	受講料	受講人数	当日の持ち物 (事前購入テキスト)	講習の開講形態	試験の方法	試験時の持込	その他 (事前にかけてほしい事項、参考テキスト等)
37	【選択】美術科の造形的な表現活動を通じた指導と評価のあり方について-立体造形について-	学習指導要領(美術科)の内容を確認しながら、造形的な見方考え方を触発する材料との対話と題材の検討を通して表現の工夫が出来る題材づくり、授業づくりを検討していく。具体的には中学校高等学校における彫刻的表現にかかわる内容を、学習指導要領を確認しつつ教材開発し、演習を織り交ぜながら理解をさらに深める。	新井 浩(人間発達文化学類教授)	福島大学(福島市)	美術棟 デザイン実習室	6時間	平成30年6月23日(土)	教諭	中学校・高等学校美術科教諭	6,000円	50人	・筆記用具 ・エプロンや前掛け、ハンドタオル	講義、グループ討論、実技	筆記試験	可	特になし
38	【選択】小学校体育の最新理論と実際	小学校における体育科の役割に対する深い理解を促すとともに、体育の授業づくりに役立てることができる最新の体育科教育に関する理論と実践の紹介及び解説を行う。それらの知見をもとに、これまでの授業実践の振り返りを行い、授業改善に向けた課題の明確化を図る。	菅家 礼子(人間発達文化学類教授)	福島大学(福島市)	総合教育研究センター棟 2階 特別教室	6時間	平成30年8月6日(月)	教諭	小学校教諭	6,000円	50人	・筆記用具 ・運動のできる服装	講義、グループ討論、実習	筆記試験	可	模擬授業も実施しますので、運動できる服装をご準備願います。
39	【選択】中高体育教員向け体育科教育の理論と実践1	体育科教育に関わる最新の知見について講義する。H30年度の講義では、運動生理学、コーチング理論について扱う。担当者の専門分野からの視点を中心にして、体育科教育の実践に関わる最新の知見を解説・指導する。	川本 和久(人間発達文化学類教授) 安田 俊広(人間発達文化学類教授)	福島大学(福島市)	M講義棟 1階 M1教室	6時間	平成30年8月7日(火)	教諭	中学校・高等学校体育科教員(小学校教員も可)	6,000円	50人	・筆記用具	講義	筆記試験	可	※注:講習開始時間は、9:00からです。 (受付:8:30~)
40	【選択】中高体育教員向け体育科教育の理論と実践2	体育科教育に関わる最新の知見を、理論と実技の両面から総合的に検討する。本講義では、ネット型「バレーボール」およびスポーツ社会学を実施する。担当者の専門分野からの視点を中心にして、体育科教育の実践に関わる最新の知見を解説・指導する。	小川 宏(人間発達文化学類教授) 連沼 哲哉(人間発達文化学類講師)	福島大学(福島市)	(受付・午前) 第1体育館 (午後) M講義棟1階 M1教室	6時間	平成30年8月8日(水)	教諭	中学校・高等学校体育科教員(小学校教員も可)	6,000円	50人	・筆記用具 ・体育館シューズ、運動着	講義・実技	筆記試験	可	※注:講習開始時間は、9:00からです。 (受付:8:30~)
41	【選択】小学校家庭科セミナー	本講習内容は、小学校家庭科について、新学習指導要領の特徴や学習指導上の課題および教科内容の科学を学び、教科認識や学習指導力を高めることを目的として実施する。本年度は、家庭科教育学、食物学、住居学を専門とする教員及び学外からのゲストスピーカーが実践的内容を含めながら講義等を行う。	浜島 京子(人間発達文化学類教授) 千葉 養伍(人間発達文化学類教授) 晃(日本大学工学部 教授) 鈴木 早川 尚子(福島第二小学校教諭)	福島大学(福島市)	人間発達文化学類棟2階 201演習室	6時間	平成30年9月15日(土)	教諭	小学校教諭	6,000円	50人	・筆記用具	講義、実験	筆記試験	可	特になし
42	【選択】中学校・高校家庭科セミナー:家庭科の学習指導と評価	この講習では、中学校・高校における家庭科の学習指導のあり方と評価に関する知識を深め、教育実践力を高めることを目的として、演習を取り入れながらの講義を行います。生徒が学んだことをそれぞれの生活で実践できるようにするための学習指導の工夫や、生徒に活用する力をつけることができたかを見取るための評価方法について、「家族など他者とのよりよい関係を工夫する」実践事例を基に、講習を展開していきます。	角間 陽子(人間発達文化学類教授)	福島大学(福島市)	未定	6時間	平成30年8月1日(水)	教諭	中学校・高等学校家庭科教諭	6,000円	30人	・筆記用具	講義	筆記試験	講習での配布資料のみ可	特になし

講習番号	講習の名称	講習の概要	担当講師	講習会場	実施教室	時間数	講習の期間	対象職種	主な受講対象者	受講料	受講人数	当日の持ち物 (事前購入テキスト)	講習の開講形態	試験の方法	試験時の持込	その他 (事前にかけておいてほしい事項、参考テキスト等)
43	【選択】中学校・高校家庭科セミナー・被服学	この講習は、被服分野における教科専門の知識を深めることを目的としています。主な内容として、持続可能な生活をめざすための衣生活のあり方について、途上国における生産の現場の資料映像の視聴等をまじえて解説します。さらに、グループで意見交換および発表を行い、これからの衣生活について考えを深めます。また、衣服のリフォーム等の実習を行い、資源としての活用の可能性について検討します。	千葉 桂子(人間発達文化学類教授)	福島大学(福島市)	人間発達文化学類棟2階 衣服デザイン実習室	6時間	平成30年9月22日(土)	教諭	中学校・高等学校家庭科教諭	6,000円	18人	・筆記用具 ・裁縫道具一式(小学校で揃える道具でよい)	講義・実習	筆記試験	可	特になし
44	【選択】中学校・高校家庭科セミナー・食物学	この講習は、食物学の教科専門に関する知識を深めることを目的として、調理科学に関連する内容や、現代の日本の食生活状況、食育の進め方、味覚教育などについて、講義を中心に簡単な実習・実験などを交えながら行います。	中村 恵子(人間発達文化学類教授)	福島大学(福島市)	人間発達文化学類棟2階 208演習室(受付) 調理実習室	6時間	平成30年9月8日(土)	教諭 栄養教諭	中学校・高等学校家庭科教諭、栄養教諭	6,000円	20人	・筆記用具 ・エプロン、三角巾、ハンドタオル	講義及び実習	筆記試験	不可	特になし
45	【選択】学び合う道徳授業の探究	1.「考え、議論する」道徳科への転換の趣旨を解説する。2. インテグレイティブ・シンキングによる道徳授業のあり方について解説する。3. 西川純氏が提唱する『学び合い』の基本的な考え方について講義し、小学校及び中学校の道徳授業の事例を参照して、教師の語りや課題設定、教師の立ち振る舞い、評価等について講義するとともに、受講者同士で議論する。	松下 行則(人間発達文化学類教授)	福島大学(福島市)	人間発達文化学類棟2階 201演習室	6時間	平成30年7月7日(土)	教諭	小学校教諭、中学校教諭	6,000円	100人	・筆記用具	講義、グループ討議	筆記試験	可	西川純氏提唱の『学び合い』の書籍を事前に読んでおくこと ※注:6/16開講の「【選択必修】学び合う道徳授業の探究」と同一内容になります。
46	【選択】事実に基づく授業研究と授業改革	授業を変えるために学校現場でできることは何かを、受講者の皆様と共に考えていきます。その際、これから求められる授業のあり方と授業研究の手法について近年の動向や研究知見、初等教育や中等教育における授業改革の実践事例を紹介し、授業経験の省察を通していかに授業を改善していくか、いかにして教師として学ぶかについて具体的に考えます。	坂本 篤史(人間発達文化学類准教授)	福島大学(福島市)	総合教育研究センター棟 2階 特別教室	6時間	平成30年8月22日(水)	教諭 養護教諭 栄養教諭	全教員	6,000円	50人	・筆記用具	講義・グループ討議	筆記試験	可	特になし
47	【選択】臨床心理学－発達障害とパーソナリティ障害－	近年、発達障害やパーソナリティ障害への関心が教育現場で高まりつつあり、アスペルガー症候群やADHDなどの診断概念が知られるようになった。本講義では、(1)自閉症スペクトラム、ADHD、LDを中心に発達障害の概念、特性について概説し、学校における教育的指導の実践について事例を示す。(渡辺)。(2)パーソナリティ障害の概説および病理の理解の仕方を概説し、生徒や保護者との関わり方を学ぶ。(岸)	渡辺 隆(人間発達文化学類教授) 岸 竜馬(総合教育研究センター准教授)	福島大学(福島市)	L講義棟 L4教室	6時間	平成30年10月6日(土)	教諭 養護教諭 栄養教諭	全教員	6,000円	150人	・筆記用具	講義	筆記試験	可	特になし

講習番号	講習の名称	講習の概要	担当講師	講習会場	実施教室	時間数	講習の期間	対象職種	主な受講対象者	受講料	受講人数	当日の持ち物 (事前購入テキスト)	講習の開講形態	試験の方法	試験時の持込	その他 (事前に知っておいてほしい事項、参考テキスト等)
48	【選択】津波被災地相馬市の災害対策	東日本大震災では、小中学校が指定避難所として利用されましたが、同時に4月の新学期に安心して教育を受けさせることが緊急の課題でもありました。被災自治体はどう対応していったでしょうか。被災地の市役所で、被災当日から詳細な記録と写真を残し、それを『災害対策本部 中間報告』として全世界に定期的に配布してきたのは、相馬市だけです。その記録を最初の4か月を中心に紹介し、紹介します。講義を通して、災害発生時の対策について考える際の参考になれば幸いです。	功力 俊洋(行政政策学類教授)	福島大学(福島市)	行政政策学類棟 2階 大会議室	6時間	平成30年6月23日(土)	教諭 養護教諭 栄養教諭	全教員	6,000円	30人	・筆記用具	講義	筆記試験	可	特になし
49	【選択】信教の自由と政教分離をめぐる現代的問題	本講座においては、宗教的自由をめぐる現代的問題を憲法学の視座から考察する。具体的には、①「宗教」の意味、②国家-教会関係の類型論、③信教の自由の内容と限界、④政教分離原則の意味と内容、⑤信教の自由と政教分離原則との調整の問題、の順に検討する。	阪本 尚文(行政政策学類准教授)	福島大学(福島市)	行政政策学類棟 2階 大会議室	6時間	平成30年7月8日(日)	教諭	中学校社会科及び高等学校地理歴史科・公民科教諭	6,000円	30人	・筆記用具	講義	筆記試験	不可	特になし
50	【選択】知識経済時代に求められる中・高等学校における経済教育	本講座では、現代社会と経済システムの理解を深めるために実施するアメリカの中・高校における経済教育の内容と体系を紹介する。また、今日の大学における経済学や経営学の教育体系と内容を紹介することで中・高等教育における経済教育との接点や役割について考える。そして、第4次産業革命や知識経済・知識創造の時代とも呼ばれる今日のダイナミックな変化とその内容を理解するために必要な経済学や経営学の基礎理論と実践例を豊かに紹介する。	伊 卿烈(経済経営学類教授)	福島大学(福島市)	S講義棟 2階 S21教室	6時間	平成30年6月23日(土)	教諭	中学校教諭・高等学校教諭	6,000円	50人	・筆記用具	講義	筆記試験	可	特になし
51	【選択】管理会計とコストマネジメント	企業の経営管理に資すべき会計情報を提供するための会計である管理会計は、企業環境の変化とともに発展してきた。管理会計の理論・歴史を踏まえ、新しい管理会計技法を紹介しつつ、現在のコスト・マネジメントの実態を考えていきたい。	伊藤 宏(経済経営学類教授)	福島大学(福島市)	未定	6時間	開講日が変更になりました 平成30年7月14日(土) 平成30年7月7日(土)	教諭	高等学校商業科教諭	6,000円	20人	・筆記用具 ・電卓	ゼミ形式	筆記試験	可	特になし
52	【選択】健康相談活動(理論)	子どもの心身の健康に関して行う健康相談について、健康相談活動の概念と特質を理解し、健康相談活動をすすめるための理論と技法を習得する。特に、健康相談活動に関する基礎的な知識を得ること、健康相談活動の対象となる健康課題について考えることを目標とする。	鈴木 ひろ子(人間発達文化学類特任教授)	福島大学(福島市)	共生システム理工学類後援記念募金棟 会議室	6時間	平成30年7月30日(月)	教諭 養護教諭	教諭、養護教諭	6,000円	20人	・筆記用具	講義・グループ討議	筆記試験	可	特になし
53	【選択】健康相談活動(実践)	子どもの健康問題の複雑化・多様化への対応について、具体的な事例を基に、その背景、対応のプロセスなどについて考察し、校内組織による実態把握、また家庭や地域、関係機関との連携について考える。中心テーマは、一般教諭による子どもの健康状態の把握法、養護教諭の職務の特質や保健室の機能を生かした、健康相談活動について、構造的な理解と知識技術を身に付け、子どもの心の問題に気づく相談活動の実践力を高めることに目標をおく。	鈴木 ひろ子(人間発達文化学類特任教授)	福島大学(福島市)	共生システム理工学類後援記念募金棟 会議室	6時間	平成30年8月10日(金)	教諭 養護教諭	教諭、養護教諭	6,000円	20人	・筆記用具	講義・グループ討議	筆記試験	可	特になし

講習番号	講習の名称	講習の概要	担当講師	講習会場	実施教室	時間数	講習の期間	対象職種	主な受講対象者	受講料	受講人数	当日の持ち物 (事前購入テキスト)	講習の開講形態	試験の方法	試験時の持込	その他 (事前知っておきたい事項、参考テキスト等)
54	【選択】自然の魅力を学びに活かす保育技術	今日の福島県の生活環境や保育環境に対して、北欧諸国の実践例を紹介しながら、幼児期の自然体験活動の意義・必要性について理解を深める。また、実際のアクティビティを体験して、自然の中での「子どもの気づきや学び」「教材探求」「安全管理」についての理解を深め、戸外遊びや園外保育で活かせる保育技術の向上を図る。	柴田 卓(郡山女子大学短期大学部幼児教育学科講師)	福島大学 (福島市)	M講義棟 1階 M1教室	6時間	平成30年10月14日(日)	教諭	幼稚園教諭	6,000円	50人	・筆記用具、 ・外で動ける服装と靴、帽子、雨具、 必要に応じて虫よけスプレー等	講義・ワークショップ・屋外での実技	筆記試験	可	特になし
55	【選択】防災教育	防災教育に関する理論と災害に関する学問歴な知識を学習したうえで、災害時においてどのように行動したらよいのかをワークショップ形式で学習する。内容については、社会科・理科などの教科教育に関することと、総合的な学習の時間での活動の双方を含む。	初澤 敏生(人間発達文化学類教授)	福島大学 (福島市)	総合教育研究センター棟 2階 特別教室	6時間	平成30年7月29日(日)	教諭 養護教諭 栄養教諭	小学校教諭、 養護教諭、 栄養教諭	6,000円	100人	・筆記用具	講義を中心に、一部ワークショップ形式を取り入れる	筆記試験	当日配布した資料類の持込みを可とする。	特になし

※同一内容の講習はどちらか一方のみ受講可能です。

※教室は決まり次第掲載します。